



平成 29 年 1 月 23 日

次世代営業店モデルの実証実験における機器の追加について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、平成 29 年 1 月 23 日（月）より、真砂支店（千葉市美浜区）にて取り組んでいる次世代営業店モデルの実証実験において、新たな業務機器（試行機）を導入いたしましたので、お知らせします。

今回、新たに導入した「次世代窓口端末」は、株式会社日立製作所（執行役社長兼 CEO 東原 敏昭）の協力を得て開発し、入出金、振込、公共料金の支払い等、窓口での幅広いお取引に対応するとともに、手続きにかかる時間短縮を目指すものです。

また、相続等の相談に本部の専門人員がテレビ通話で直接対応する「リモート端末」も導入いたしました。ご相談内容に応じて説明資料を画面に表示し、お客さまの利便性向上を図ります。

次世代営業店モデルの実証実験の概要は下記のとおりです。当行は、今後もフィンテック等の先進技術を活用し、お客さまにより質の高い商品・サービスの提供に努めてまいります。

記

1. 実施店舗 真砂支店（千葉市美浜区真砂 4-1-5（ショッピングセンターPIA 1 階））
2. 実施期間 平成 28 年 9 月～平成 29 年 5 月（予定）
3. 導入機器

機器名	機能概要	備考
次世代窓口端末	タッチパネルを用いて伝票記入負担を減らし、入出金、振込、振替、税公金のお支払いをスピーディーに行うことができます。	平成 29 年 1 月 23 日より導入
リモート端末	テレビ会議システムをつうじて営業店と本部を結び、相続等の複雑な相談に本部の専門人員が直接対応します。	
ロビー入金機	大口の現金入金を専用機で受け付け、簡単かつスピーディーにお手続きができます。	平成 28 年 9 月 20 日より継続使用
対話式端末	お客さまと行員が対話により新規口座開設等のお手続きができ、伝票の記入負担を大幅に減らします。	

※ 導入機器は、随時、追加、見直しを行っております。

以上

【次世代窓口端末のイメージ】

